

タイムレコーダー・勤怠管理システムの比較表

	タッチ オン タイム Touch On Time Powered by KING OF TIME	従来の タイムレコーダー	オンプレミス型 勤怠管理システム	クラウド型 勤怠管理システム
費用	 初期設定費用は無料。打刻方法により別途端末購入が必要だが、集計業務が軽減されたりサブライ品購入がなくなるのでトータルではコスト削減になることも。サポート込で 1 人@300 円 / 月はクラウド型でも低価格帯。	 初期設定費用は無料だが打刻端末・タイムカードなどのサブライ品は別途購入が必要。また、勤怠情報の集計作業による人件費やタイムカード運送、更には保管費などのコストは別途必要になる。	 システム構築・サーバー設置などの初期費用が非常に高額になる。更に月々の運用管理費も他のサービスと比べると高額になりがち。さらに、法改正に伴うカスタマイズ費用などが別途必要のケースも。	 月額費用は 50 円程度からと安価なサービスもあるが、「スケジュール機能はオプション」など、必要な機能がオプションで結果的に高額になるケースもあるため事前に確認が必要。
使いやすさ	 勤怠管理に必要な機能を取り揃えており、様々な打刻方法やをご用意しているため、業種・業態・規模・地域を問わずにご利用いただけます。	 昔から馴染みのあるもののため、万人に抵抗なく利用してもらえる。ただし、特別な運用ルールを用いると意外と煩雑になることも。	 自社用のシステムなので使いやすさは抜群のはず。しかし、現場の声が反映されていないシステムが完成することも少なく、その場合は使いづらくなる可能性も。	 使いやすさはサービスによって大きく偏る。
サポート	 Touch On Time 専属のサポートセンターが社内に設置されており手厚いサポートをお約束します。	 サポートを必要とする内容が多岐に渡り、様々な知識が必要。最終的に自らが行動を起こさないといけないため負荷が高い。	 保守契約をしておけばある程度のサポートが期待できる。	 安価なサービスはサポートがない場合も多いので要注意。
機能の更新性	 定期的に機能のバージョンアップを行っています。もちろん法改正などの対応も万全です。	 基本的に手作業となるため、自動的なアップデートなどはない。	 要望に応じて機能アップデートは可能だが、別途料金が必要。	 大抵の場合は定期的に機能のバージョンアップを行っていますが、そうでないものもある。
導入（乗換）のお試し版	 無料のお試し期間が 30 日間あり、導入設定までサポート。	 大抵の場合はタイムレコーダーを買い取り、実際に運用を開始する流れ。	 システムが完成するまで使用感はわからない。	 大抵のクラウドサービスが無料のお試し期間を設けている。
総評	安いだけのサービスは他にもあるが、どのような勤怠ルールにも対応できるソフト面と、3 つの方法で打刻できる Touch On Time レコーダーが人気を博し、おかげさまでクラウド型勤怠管理システム市場シェア No.1 を獲得。導入時は初期費用 0 円で無料お試しも実施。じっくりと導入検討できるのも人気の理由の一つです。	従来は当たり前だったタイムレコーダータイプの勤怠管理。集計作業の手間やサブライ品のコスト、管理業務が行いづらく不正打刻がしやすいなどの面から、今このタイミングではあまりお勧めできません。今では勤怠管理システムに必要な打刻端末も数千円から購入できるので乗り換えを検討してはいかがでしょうか？	自社用にカスタマイズしたシステムは使いやすさは抜群。しかし、サポートや法改正対応には別途費用が発生するなど、費用的に高額になることが多いです。また、現場の声が反映されていないシステムが完成することも少なく、その場合は使い勝手が悪く、コストも割高なシステムになりかねないので、ご注意ください。	大抵のクラウド型サービスは定期的なバージョンアップがあったり、出退勤情報をデータで保持しているため他システムとの連携や保管場所を取らない面などでメリットが多いです。ただ、製品によっては料金形態が複雑のため結果的に割高になることやサポートが一切ないこと、打刻できる端末が限られている、などの課題もあるので、選定の際は意識的に確認を！